

令和3年11月18日

まちづくり委員会資料

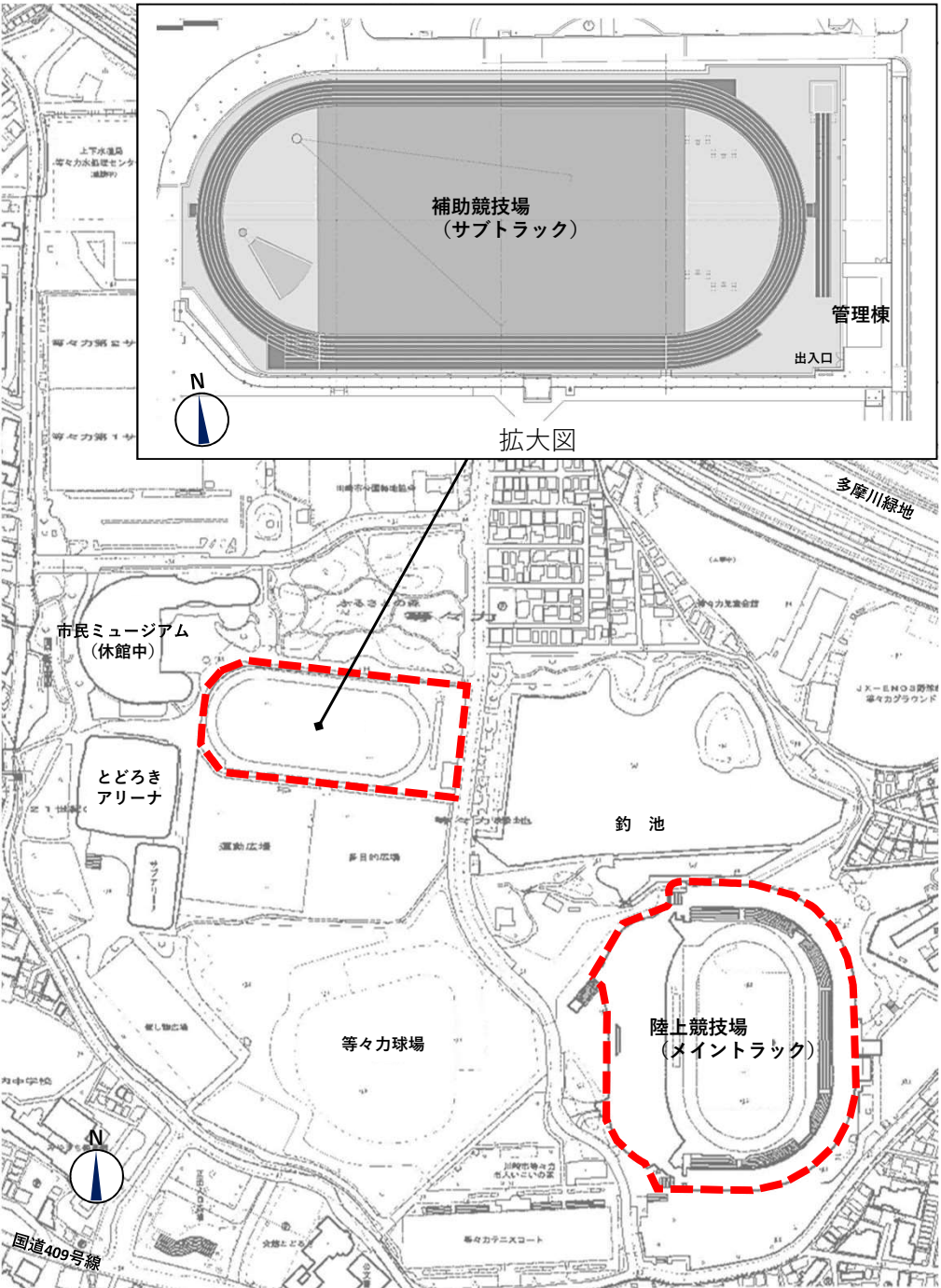
陳情第91号

等々力陸上競技場の球技専用競技場改修に
関する陳情

建設緑政局

陳情第91号 等々力競技場の球技専用競技場改修に関する陳情について

1 現在の陸上競技場・補助競技場について



	陸上競技場 (メイントラック)		補助競技場 (サブトラック)	
面積	19,677㎡ (トラック、フィールド合計)		15,705㎡ (トラック、フィールド合計)	
種別	第1種公認陸上競技場		第2種公認陸上競技場	第3種公認陸上競技場
1周の距離	400m	←	400m	400m ←
走路	レーンの幅	1.22m ←	1.22m	1.22m ←
	直走路	8レーン又は9レーン 長さ115m以上	8レーン	8レーン 長さ114m以上
	曲走路	8レーン又は9レーン	8レーン又は9レーン	6レーン以上 6レーン
障害物競走設備	必要	あり	必要	無くても可 あり
補助競技場	全天候舗装400m 第3種公認陸上競技場が必要	あり	全天候舗装の競技場があることが望ましい	無くても可 なし
跳躍場	仕様・細則に示す数	あり	仕様・細則に示す数	細則に示す数 あり
投てき場	仕様・細則に示す数	あり	仕様・細則に示す数	細則に示す数 あり
収容人員	15,000人以上 (芝生席を含む)	メインスタンド、 サイドスタンド、 バックスタンド (計27,495人)	5,000人以上 (芝生席を含む)	相当数 —
更衣室	300人以上収容できること	あり	100人以上収容できること	利用できる設備があることが望ましい あり
雨天走路	メインかバックスタンド側にあることが必要 舗装材は競技場と同一とする	あり	設備することが望ましい	無くても可 なし
トラックとフィールドの舗装材	全天候舗装	←	全天候舗装	全天候舗装 ←
インフィールド	天然芝又は投てき実施可能な人工芝	天然芝	天然芝又は投てき実施可能な人工芝	天然芝又は投てき実施可能な人工芝 投てき実施可能な人工芝
用器具庫	2カ所以上 合計500㎡以上	あり	それぞれの種別に示す用器具を収納できるもの	それぞれの種別に示す用器具を収納できるもの あり
浴場またはシャワー室	男女各2カ所以上	あり	男女各2カ所以上	利用できる設備があることが望ましい あり
競技場にて開催できる競技会の種別の標準	日本陸上競技連盟が主催する日本陸上競技選手権大会、国民体育大会等の全国規模競技会及び国際的な競技会	セイコーゴールデングランプリ陸上	加盟団体等が主催する選手権大会及び主要な競技会並びに日本陸上競技連盟が承認し主催する競技会	加盟団体等が主催する競技会 市の陸上競技選手権大会など

※網掛け部分は、日本陸上競技連盟による主な公認基準

2 現状の陸上競技場の利用状況と課題

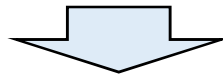
- 等々力陸上競技場は、Jリーグの試合などが無い日は、トラック等の個人利用が可能です。土日はJリーグ、陸上競技大会などの利用希望が集中しており、土日の約37% (令和元年度) を川崎フロンターレが使用し、サッカー協会の利用も含めると約45%がサッカー場としての利用になっています。
- 陸上競技大会の開催にあたって、Jリーグとの競合等により日程調整が毎年困難となっています。
(川崎市陸上競技協会からの意見)
- 第1種公認陸上競技場が必要な国際・全日本レベルの大会は、数年に1回の開催状況となっています。
- 年間を通じて、陸上大会や講習会等の利用のうち、メイントラックとサブトラックの両方を同時に利用している割合は、約2割となっています。

【陳情の要旨】

- 等々力陸上競技場の球技専用競技場への改修に反対します。

【陳情の理由】

- 第1種公認陸上競技場から第2種公認陸上競技場になり、大きな大会が開催されなくなる。
- 陸上競技の大会で混雑が増してしまう。
- 現状、サブトラックは基本6レーンなので、8レーンに改修しても狭くなって、選手の接触事故などが増えてしまう可能性がある。
- サブトラックをメイントラックにすると、新しいサブトラックが必要になるが、そのためには、等々力緑地の自然や公園などが破壊されてしまう。仮に、等々力緑地外に新しいサブトラックを建設しても、移動の負担が大きくなって不便になってしまう。
- もし、新たにサブトラックが建設されなければ、一般開放時の混雑が更に増してしまう。また、大会当日にサブトラックでの練習もできなくなってしまう。



【陳情に対する本市の考え方】

- 陸上競技場の種別変更については、現状の利用状況などを踏まえ、川崎市陸上競技協会から第1種公認にこだわらないとの意向が示されていることから、現在の陸上競技場を球技専用スタジアムに改築し、補助競技場を地域に根差した市民のための陸上競技大会が開催できる市内唯一の施設として、第2種公認相当陸上競技場として改修してまいります。（トラック拡張※、メインスタンドの整備、収容人員5千人以上、夜間照明等）
※第2種公認陸上競技場の基本仕様として、走路は8レーン又は9レーン
- 新陸上競技場の収容人員やトラック仕様などについては、緑地内の自然環境に配慮し、運営上、競技者にとって適切な競技場となるよう、川崎市陸上競技協会と協議してまいります。
- 補助競技場（サブトラック）については、第1種公認陸上競技場には併設が必要ですが、第2種公認以下には必ずしも必要としない規定となっており、緑地内の状況を踏まえ、整備は困難であると判断しております。なお、大会時の練習場所の確保につきましては、川崎市陸上競技協会と協議を進めてまいります。